第三回入ゼミ説明会資料

■日程
※注意※
日程・時間は今後変更される可能性があります。各自で経済学部ゼミナール委員会からの連絡や入ゼミメーリングリストを随時参考にするようにしてください。

第３回入ゼミ説明会　1月9日(土)@日吉キャンパス
・ゼミ生による説明会／質疑応答
・課題レポートのテーマ発表
・入ゼミメーリングリストの登録

A日程仮登録　2 月5 日(金)@三田キャンパス
・A日程仮登録
・各ゼミ倍率発表
※個別ブースなし

A日程本登録　3 月19 日(金)@三田キャンパス
・A日程本登録
・個別ブースでの質問受付
・課題レポートの提出(メール＆個別ブース)
・各ゼミ倍率発表

A日程試験　3 月30 日(火)@三田キャンパス
・筆記試験
・面接試験
・合格者発表／B日程概要発表
・合格者ガイダンス

■入ゼミ試験概要

募集概要
・募集人数：13名前後
・A日程での採用を優先(B日程を実施しない場合もあります)
・B日程での出願のみ、1～2年の成績でAが15個以上の方に限らせていただきます
(B日程登録時に成績表を1部提出)

試験内容
(1) 課題レポート(B日程では不要)
1. 世界同時不況と日本経済への影響について述べなさい。
2. 雇用と社会保障制度の問題点について述べなさい。
※　1または2のいずれか1題を選択して解答してください。いずれのレポートでも、その問題に対する自分の問題意識が分かるように記述してください。
(2) 筆記試験(50分、持ち込み不可)
経済問題と経済学の基礎知識に関する筆記試験
(3) 面接試験(1人15～20分程度)
※受験者が多数の場合はグループ面接になる可能性があります(1グループ30～40分程度)。
上記(1)～(3)を教授・ゼミ生全員で総合的に評価

課題レポート詳細
(1) 枚数：A4で3～7枚(枚数厳守、表紙・参考文献は枚数から除く)
(2) タイプのみ受付(手書き不可)
(3) メーリングリストで配布するテンプレートに従うこと

提出方法
(1) A日程本登録日の午前6：00までにWordファイル(.doc)をメールで提出してください。
(宛先は後日メーリングリストで連絡)
(2) 本登録の個別ブースで、(1)で印刷したものを提出してください。(1)からの修正・変更は不可。
※上記(1)と(2)の両方を必ず行ってください。

参考
2009年度選考内容
◆A日程
(1) レポート（いずれか1題を選択A4で3～7枚）
1. 日本の社会保障制度の問題点について述べなさい。
2. 米国発の金融危機と日本経済への影響について述べなさい。
(2) 筆記試験
A. 用語説明
1. 年金制度の賦課方式と積立方式
2. 自己資本比率規制(BIS規制)
B. 論述問題：両方の問題を解答

1. バブル崩壊によってデッド・デフレーション(負債デフレ)に陥った場合、どのような政策が必要となるのか。日本の土地バブル崩壊あるいはアメリカの住宅バブル崩壊を念頭におきつつ、考えを述べなさい。
2. 非正規雇用が大きく増加してきた状況のもとで、年金制度や健康保険制度の一元化がなぜ必要となるのか。その理由を述べなさい。
2008年度選考内容

◆A日程
(1) レポート（いずれか1題を選択A4で3〜7枚）
1. 構造改革とは何か説明した上で、構造改革の問題点について述べなさい。
2. アメリカの住宅バブル崩壊とその影響について述べなさい。
(2) 筆記試験
A. 用語説明
1. 公開市場操作
2. 中央銀行の最後の貸し手機能
B. 論述問題：いずれか1題を選択
1. 日本か米国を具体例にして、クレジットクランチ(信用収縮)が進むメカニズムを説明しなさい。
2. 日本の現状を踏まえつつ、格差是正が必要かどうか、理由を挙げて答えなさい。

◆B日程
2008、2009年度いずれも実施しませんでした。 B日程の出願は1〜2年生の成績でAが15個以上の方に限らせて頂きます。選考形式は、基本的にA日程に準じる形になります。

評価・注意
(1) 問題意識・論理構成力・知識量・表現力・独自性などを総合的に評価します。
(2) レポートにおいて、参考文献・URLなどはすべて記載すること。
(3) 引用を明示した部分以外で、書籍やインターネットからコピーしたものは著しく減点、もしくは失格に処します。

■メーリングリスト概要
入ゼミ関連情報や連絡は全て新規のメーリングリストにて行います。
(1) nekosaru2010@yahoo.co.jpにメール
(2) 件名：「メーリングリスト登録」
(3) 次の項目を明記：学部／氏名／携帯メールアドレス／PCメールアドレス
(4) 明日の24：00までにこちらからメールが届かない場合は、nekosaru2010@yahoo.co.jpにれんらくください。

※第3回入ゼミ説明会時に、ブースにて直接メールアドレスを記入された2年生は、上記の作業をしていただく必要はありません。
※当日記入し忘れた方、もしくは説明会に参加しなかったけれども同メーリングリストへの参加を希望される方がいらっしゃる場合は、上記の方法で加入することができますので是非ご活用ください。(この場合、メーリングリストへの参加が完了次第、確認メールを送らせていただきます。)
※また、既に金子勝研究会の希望者用メーリングリストに参加している方も、新規メーリングリストへの移行手続き(第3回説明会にて登録もしくはnekosaru2010@yahoo.co.jpに連絡)を取ってください。これまでのメーリングリストは廃止し、今後の入ゼミ情報は新規メーリングリストからのみとなります。

■志望者へのメッセージ
金子ゼミでは、本ゼミ・サブゼミ・三田祭論文などの活動の中で、現実社会の知識・問題意識を高めるだけでなく、論理的思考力を飛躍的に高めることができます。その過程で自らを磨くとともに、他者への理解を深めていきます。またメリハリを大切にしており、飲み会やイベントなどでは笑顔が絶えませんが、いざゼミや勉強になると皆真剣になります。
ゼミ選びは大学生活の半分を占める重要な場です。そこで何を学び、何を得るのかが一人一人の人生において大きな意味を持っています。金子ゼミは頑張った人が頑張った分だけ報われるゼミですので、ゼミ活動を真剣に行いたい方にとっては最高の環境になっています。今春、意欲のある方々にお会いできるのを楽しみにしています。

■連絡先
入ゼミに関する質問は、全てメールで承ります。積極的に活用してください。

ゼミウェブサイト　http://www.ka-cat.com/
入ゼミ関連・質問用メールアドレス　nekosaru2010@yahoo.co.jp